

業 務 仕 様 書

標記について、下記のとおり実施する。

記

1. 業 務 名 能美市美化センター各施設水槽及び配管等清掃業務委託
2. 業務場所 能美市美化センター
3. 業務期間 契約締結日から令和8年3月31日までとする。
4. 業務内容 ごみ焼却施設及び浸出水処理施設の各水槽及び配管等の清掃
5. 業務詳細

1) ごみ焼却施設各水槽等清掃

| 番号 | 清 掃 箇 所 | 水槽容量 | 深さ |
|----|------------------|----------------------|--------|
| ① | 排水受槽 | 4.37 m ³ | 2.80 m |
| ② | 沈殿タンク（下部ドレン配管含む） | 1.00 m ³ | 1.70 m |
| ③ | 処理水槽 | 5.46 m ³ | 2.80 m |
| ④ | 噴射水槽 | 35.70 m ³ | 2.80 m |
| ⑤ | ごみ排水貯留槽 | 8.19 m ³ | 2.80 m |
| ⑥ | ごみ排水ピット | 19.31 m ³ | 9.00 m |
| ⑦ | 灰排水ピット（流入配管含む） | 2.40 m ³ | 1.20 m |
| ⑧ | 灰出し棟排水溝及び枳 | 0.32 m ³ | 0.75 m |
| ⑨ | 灰固化棟清掃排水ピット | 0.86 m ³ | 0.90 m |
| ⑩ | 洗車排水槽 | 1.73 m ³ | 1.20 m |
| ⑪ | 空気圧縮機棟雑排水槽 | 0.60 m ³ | 0.70 m |
| ⑫ | プラットホーム清掃排水ピット | 0.84 m ³ | 0.85 m |
| ⑬ | ポンプ槽 | 0.68 m ³ | 1.20 m |
| ⑭ | 重油貯留槽排水槽 | 0.47 m ³ | 0.66 m |
| ⑮ | 雨水排水枳（その1） | 0.84 m ³ | 0.85 m |
| ⑯ | 雨水排水枳（その2） | 0.84 m ³ | 0.85 m |
| ⑰ | ガス冷却水用配管（1・2号共） | | |

上記①～⑯の高圧洗浄（水中ポンプ含む）及び汚泥引抜搬出。

④の上澄水の排出先はセンター内とし、別途指示する。

清掃の際に発生する汚泥はセンター内処分とし、別途指示する。

尚、汚泥排出後は消臭剤を散布すること。

⑰の清掃時におけるメクラフランジの取外しの際、配管内の汚水噴き出しに注意し、また、清掃後の復旧については、シールテープを巻き付け、取外し前の状態まで確実に締付けを行うこと。

水槽内部及び水槽内設置機器類等の状態を確認し、報告書を提出すること。

清掃回数は下記2回の2日間とし、いずれも日没までに終えるものとする。

1回目 … 令和7年9月15日（月・祝）

2回目 … 令和8年3月20日（金・祝）

※但し、センターの運用上、変更する場合がある。

業務写真を提出すること。

2) 浸出水処理施設各水槽等清掃

(1) 浸出水処理施設各水槽等清掃

| 番号 | 清 掃 箇 所 | 水槽容量 | 深さ |
|----|-----------------------|----------------------|--------|
| ① | 原水ピット | 8.10 m ³ | 4.53 m |
| ② | 中和槽 | 1.00 m ³ | 1.53 m |
| ③ | 混和槽 | 1.30 m ³ | 2.13 m |
| ④ | 凝集槽 | 1.56 m ³ | 2.13 m |
| ⑤ | 凝集沈殿槽 | 15.63 m ³ | 4.53 m |
| ⑥ | 最終中和槽 | 1.00 m ³ | 2.43 m |
| ⑦ | 最終中和槽～第2砂ろ過原水槽配管 | | |
| ⑧ | 第2砂ろ過原水槽 | 9.60 m ³ | 4.53 m |
| ⑨ | UF膜原水槽 | 3.20 m ³ | 4.53 m |
| ⑩ | UF膜原水槽～UF膜装置ストレーナ部配管 | | |
| ⑪ | 第1砂ろ過原水槽 | 10.70 m ³ | 4.53 m |
| ⑫ | 第1砂ろ過逆洗排水槽 | 15.50 m ³ | 4.53 m |
| ⑬ | 第1砂ろ過逆洗排水槽～原水ピット配管 | | |
| ⑭ | 濃縮汚泥貯留槽 | 50.00 m ³ | 4.53 m |
| ⑮ | 埋立処分場～第2原水調整槽接続樹(その1) | 5.00 m ³ | 1.25 m |
| ⑯ | 埋立処分場～第2原水調整槽接続樹(その2) | 10.80 m ³ | 2.70 m |

上記①～⑯の高压洗浄(水中ポンプ等含む)及び汚泥引抜搬出。

清掃の際に発生する汚泥はセンター内処分とし、別途指示する。

水槽内部及び水槽内設置機器類等の状態を確認し、報告書を提出すること。

実施日は令和7年8月～9月中とし、センターと協議の上決定する。

業務写真を提出すること。

(2) 第1原水調整槽清掃

| 番号 | 清 掃 箇 所 | 水槽容量 | 深さ |
|----|------------------|--------------------|--------|
| ⑰ | 第1原水調整槽(曝気沈砂槽含む) | 330 m ³ | 4.60 m |

槽内の高压洗浄(水中ポンプ含む)及び汚泥引抜搬出。

清掃の際に発生する汚泥はセンター内処分とし、別途指示する。

水槽内部及び水槽内設置機器類等の状態を確認し、報告書を提出すること。

実施日は令和7年8月～9月中とし、センターと協議の上決定する。

業務写真を提出すること。

(3) 第1砂ろ過原水槽等清掃

| 番号 | 清 掃 箇 所 | 水槽容量 | 深さ |
|----|--------------------|----------------------|--------|
| ⑪ | 第1砂ろ過原水槽 | 10.70 m ³ | 4.53 m |
| ⑫ | 第1砂ろ過逆洗排水槽 | 15.50 m ³ | 4.53 m |
| ⑬ | 第1砂ろ過逆洗排水槽～原水ピット配管 | | |
| ① | 原水ピット | 8.10 m ³ | 4.53 m |

※清掃箇所の番号は2) (1) 浸出水処理施設各水槽清掃の番号と同じ箇所である。

上記①、⑪～⑬の高压洗浄（水中ポンプ等含む）及び汚泥引抜搬出。

清掃の際に発生する汚泥はセンター内処分とし、別途指示する。

水槽内部及び水槽内設置機器類等の状態を確認し、報告書を提出すること。

実施日は令和8年3月中とし、センターと協議の上決定する。

業務写真を提出すること。

6. その他

1) 仮設機材等の準備

本業務に必要なと思われる仮設用の照明、器具類、作業用品類、設備、車両等の準備については受注者が負担するものとする。

2) 安全管理

水槽内の酸素濃度及び硫化水素を測定してから作業を行ない、また、作業中の換気等適切な対応を取り安全を確保した上で作業を実施すること。また作業員への安全教育を徹底し、酸素欠乏やガス等による労務災害の発生がないように十分注意すること。

センター及び第三者に対しては、全て受注者の負担において、相当の防護策を施さなければならない。また、やむを得ず生じたセンター及び第三者への損害及び損傷等については、受注者においてその損害額を補償するものとする。

3) 復旧

水槽内にある配管や機器等を破損させないよう十分注意すること。万一破損が生じた場合は受注者の負担で速やかに復旧すること。また、清掃時における汚染についても十分に注意すること。万が一汚染が生じた場合は受注者の負担で速やかに復旧すること。

4) 清掃・後片付け

清掃完了後、業務開始前の状態以上に清掃・後片付けを念入りに行ない、また、蓋の閉め忘れ等がないように注意すること。